

令和5年度2月補正予算（令和6年2月専決）の概要（震災関連）

【予算規模】

（単位：千円）

会計	現計予算額	今回補正額	補正後の額	前年同期比	
一般会計	25,231,198	3,610,000	28,841,198	29.53%	
特別会計	8,419,204	0	8,419,204	▲1.64%	土地、臨海、国保、後期、介護
企業会計	10,635,400	0	10,635,400	15.28%	水道、下水道、病院
合計	44,285,802	3,610,000	47,895,802	19.59%	

ポイント

令和6年能登半島地震によって被災された方々への生活支援、被災した公共施設等の復旧（将来人口等を踏まえた施設の在り方も検討）などを更に進めるため、必要な経費について**令和6年2月13日付け**で専決処分し、予算計上した。

■ 主な歳出予算

1) 災害救助費【725,000千円】

- ① 被災者生活支援
- ② 救助事務費

2) 災害援護資金貸付金【700,000千円】

被災状況、所得状況等に応じて最大350万円貸付け ※条例の一部改正も併せて実施

3) 個人設置型浄化槽災害復旧費補助【50,000千円】

4) 公共施設災害復旧【2,115,000千円】ほか

庁舎等、公営住宅、学校、農道林道、商工施設、消防施設等（単独災害復旧）

■ 財源

国庫支出金、県支出金、地方債 ※財源組替えを含む。

※今後も必要な経費については、速やかに予算措置する。

安全安心な学びの場の早期整備のため

【債務負担行為の設定】

① 小学校施設災害復旧（1,104,000千円）（R6～R8）

河井小グラウンドに仮設校舎を建設

河井小、鳳至小、鶴巣小、大屋小、三井小及び河原田小の児童を対象

